

留寿都高校だより

令和3年8・9月 合併号

(令和3年9月30日発行)

TEL(0136)46-3376

FAX(0136)46-3386

村立高校のアドバンテージ

北海道留寿都高等学校長 齋藤 譲一

新型コロナウイルスの影響により、9月末までの緊急事態宣言となった北海道。ワクチン接種が進む中ではありますが、これまで実施してきた感染予防対策を粘り強く、そして、確実にしていきたいと考えています。

さて、本校では夏季休業明けに全校生徒と全職員に対して一人一台のパソコンを貸し出す環境が整いました。全道の高校では、来年4月から小中学校と同じように一人一台のパソコンを活用した授業を展開していくこととなっていますが、多くの高校では授業で使用するパソコンは生徒（保護者）が準備しなければなりません。国際化・情報化が進む中でICT機器を活用した授業を行うための環境を他校より早く、しかも保護者の負担がなく整えることができたのは、村立高校の大きなアドバンテージだと考えています。今後は、この整備された環境を有効に活用し、質の高い教育を行えるように教職員一同、取り組んでいきますのでご期待ください。

10月からは後期が始まりますが、今後も留寿都高校の教育活動に対し、より一層のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

中学生1日体験入学

8月21日（土）に今年度1回目の中学生1日体験入学を行い、後志地区や石狩地区から中学生が来校しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの実施となりましたが、留寿都高校の魅力を伝えるために、リモートを活用するなど工夫して行いました。



生活体験発表大会

9月14日（火）に第65回後志地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が行われました。本来であれば小樽未来創造高校を会場として実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、リモートでの開催となりました。

本校からは、2年生の伊藤紅都香さんが出場しました。伊藤さんは、「これからの毎日が幸せであるように」と題して堂々と発表し、見事3位入賞を果たしました。



P T A 地区別懇談会のお知らせ

今年度も、本校の教育活動をご理解いただくとともに、お子様の日頃の様子について担任との懇談の機会として、以下の日程で地区別懇談会を実施いたします。ぜひ、多くの保護者の皆様にご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、教頭（小川）までお問い合わせください。

日時 札幌地区 令和3年10月22日（金） 時程 18:30~19:00 開会・全体懇談会
留寿都地区 令和3年10月25日（月） 19:00~20:30 学級懇談会・個人懇談会

場所 札幌地区 札幌市南区民センター 視聴覚室AB（札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1）
留寿都地区 北海道留寿都高等学校 視聴覚室

第2回中学生一日体験入学のお知らせ

10月29日（金）に第2回中学生一日体験入学を予定しています。中学生や保護者の皆様、および中学校の先生方に本校の教育内容や特色等について理解を深めていただきたく、多くの方々の参加をお待ちしております。なお、お申し込みは、中学校の先生を通してお願いいたします。

10月の主な予定

1日（金）	収穫感謝祭 衣替え 介護職の魅力を伝える講習	21日（木）	介護ロボット講習会
4日（月）	4年生後期実習開始（～15日）	22日（金）	P T A 地区別懇談会（札幌）
8日（金）	実用英語技能検定 日本漢字能力検定	25日（月）	P T A 地区別懇談会（留寿都）
13日（水）	情報処理検定（表計算）	27日（水） ～28日（木）	第72回日本学校農業クラブ全国大会（兵庫県）
19日（火）	情報処理検定（ワープロ）	29日（金）	第2回中学生一日体験入学
20日（水）	人権擁護教室（1年生）		

2・3年生校内実習

3年生は9月6日（月）から13日間、2年生は9月13日（月）から8日間、国際農業コース、農業福祉コースともに実習を行いました。本来であれば、国際農業コースの生徒は留寿都村内の農家の方々の下で実習を行い、農業福祉コースの生徒は、福祉施設で実習を行う予定でした。しかし、緊急事態宣言の期間中であることから、校内での実習に切り替えました。

新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの実習となりましたが、生徒の感想からも、それぞれにとって貴重な経験となったことが伺えます。

国際農業コース

2年 松山 遥平

実習は今回が初めてでしたが、校内実習ということもあり、普段の農業の授業と気持ち的にも実習内容的にもそれほど変わりがないと思っていました。始めてみると、普段の授業で経験したことのある内容で1日が終わることもありましたが、ビニールハウスの張り替えや、ドアの改修、溝を掘る作業など、経験したことのない長時間の作業もありました。これらの経験を今後の生活に活かしたいと思いません。

2年 大沢 りょう

私が今回の農業実習で学んだことは3つあります。まず1つ目は、限られた人数の中で素早く行動し、効率良く作業する大切さや、その人の得意、不得意を活かすように役割を分担することです。2つ目は、人の話をよく聞き、何をすれば良いのかを自分で考えることが大切だということです。3つ目は失敗しても良いからやってみることです。やらない後悔よりも、やった後悔の方が多くのことを学ぶことができ、自分が成長できるからです。私は、これらの学んだ3つのことを忘れずに意識していきたいと思いました。

3年 清水 奏楽

今回の実習では、すべて校内での活用でした。コロナ禍での実習でしたが、自分はみんなと協力することを目標にしていました。農業コースの実習だったので、1つの作業にみんなと協力するということがかなりたくさんあったと感じました。自分は元々、みんなで何かをやるというのがあまり得意な方ではなかったのですが、実習中に心掛けたことによって、少し周りとの力を合わせることでできてきたのではないかと感じました。

3年 面山 久遠

今回の実習では、新型コロナウイルス感染症の影響で校内での実習となりましたが、週を丸々使って行った実習の中で培われた経験は大きいものだと感じました。一緒に実習を行った仲間も、皆普段とは違った表情で実習に取り組んでいて、去年の実習よりも動きに磨きがかかっていたことが素晴らしいと感じました。



農業福祉コース

2年 佐藤 夏希

高校に入ってから初めて高齢者の方とのコミュニケーションを行いました。上手にコミュニケーションを行うことはできませんでした。しかし、職員の方からコミュニケーションの方法を教えていただいたため、これからはコミュニケーションの練習をし、できるようになりたいです。対人での介助やレクリエーション考案、パラリンピックスポーツ体験など、普段できないことを行い、声かけやコミュニケーションの大切さを学んだので、これからは活かしていきたいです。

2年 中山 風花

介助は、もちろん技術も必要ですが、コミュニケーションを取り、信頼関係を構築することも重要であると再確認ができた期間になりました。今回は校内の実習ということで事前にプログラムがされており、それに沿って準備を行いました。自分がいかに臨機応変に対応するかが問われる場でもあったと思いました。

3年 遠藤 咲希

今回は校内実習になってしまいましたが、人形ではなく、人を相手に食事介助やベッドから車いすへの移乗介助の練習などを行いました。普段は、人に対して介助を練習することがあまりなかったので、良い経験ができました。利用者さんとの交流では、表情の作り方などを意識することが重要であると学びました。実習を通して自分のものの考え方を改めて考察してみることが大切ではないかと思いました。

3年 工藤 龍星

自分の課題と向き合える貴重な3週間だったと思いました。コロナウイルスの影響で校外実習に行けなかったのはとても残念でしたが、実際の現場に近い実習を受けることができました。特に、利用者様と交流できると思っていなく、様々な経験ができました。少し大変なところもありましたが、その分介護の大切さとやりがい学ぶことができました。今回の実習で学んだことを、これからの学校生活で活かしていきたいです。



事務より

毎月末日が授業料・諸納金の口座引き落とし日です。余裕を持って郵便局指定口座の残金等を確認し、入金していただきますようお願いいたします。

不明な点は事務部までご連絡ください。

(電話 0136-46-3376)